

「包む」に挑む
「包む」を創る

第59期中間株主通信

2020年1月1日～2020年6月30日

ダイナパック株式会社

証券コード：3947

ごあいさつ

お客様の“笑顔”が私の報酬です。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ダイナパックは創業以来“包装”を通じて人から人へ、企業から企業へとお客様の想いを大切に包んで世界中に届けてまいりました。

これからはさらに加速する市場の変化、技術革新、ニーズの多様化が予想されます。

しかし、モノを包む“包装”を通じて人から人へ、企業から企業へと想いを大切に届けるという基本哲学は変わりません。私たちはそれをさらに向上させるべく、技術力、デザイン力、マーケティング力、提案力、スピード力などに磨きをかけ、お客様の満足を勝ちとりたいと思っています。

私は全社員と心を一つにして、ダイナパックならではのイノベーションを創出し、お客様の期待に応え、世界中の人々から笑顔の報酬を頂けるよう努力を重ねてまいります。



今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ここに当社第59期中間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）株主通信をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2020年8月

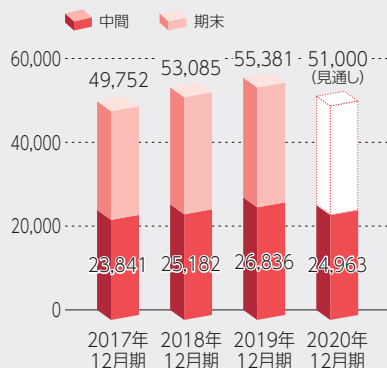
代表取締役社長 杉山 喜久雄

業績ハイライト

● 売上高

249億63百万円

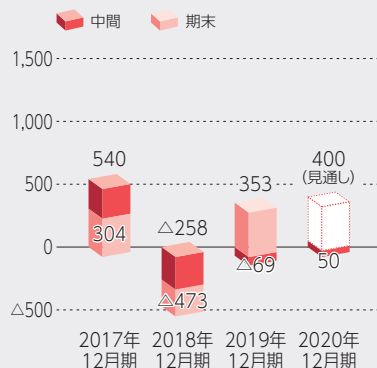
(単位：百万円)



● 営業利益

50百万円

(単位：百万円)

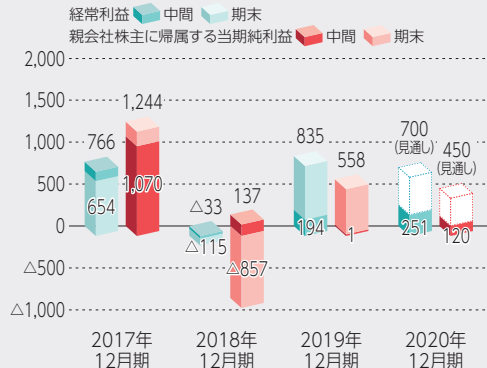


● 経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益

2億51百万円

(単位：百万円)

1億20百万円





経営環境について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大によって深刻な影響を受け、極めて厳しい状況で推移しました。特に個人消費は外出自粛や休業要請によって大きく落ち込み、5月末の緊急事態宣言の解除を受け、経済活動が再開されているものの、収束時期の見通しが立たず、経済へのマイナス影響は長期化することが懸念されます。海外経済においても、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などの不確実さに、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞が加わり、急激な減速となりました。先行きについては、経済活動の再開が段階的に進められていますが、経済回復には長い期間を要することが予想され、極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

段ボールの国内消費動向は、1-6月累計数量（速報値）では前年比96.9%と、4月以降に新型コロナウイルス感染拡大による景気減速の影響を受けました。

当期の取り組み

このような環境下、当社グループの国内販売数量は、段ボールケースにおいては、新型コロナウイルス感染拡大による影響により、特に海外とのサプライチェーンの分断や個人消費の落ち込みの影響を受けた電機機械や住宅設備等の工業製品向けが4月以降大きく減少し、段ボールシートにおいても同様に工業製品向けの減少が響き、前年比で92.4%となりました。

収益面においては、販売数量減少の影響は受けたものの、昨年の製品価格改定が寄与し、利益計上となりました。

海外においては、中国、マレーシアおよびフィリピンで一時的に移動ならびに事業活動の制限による影響を受けましたが、中国では2月半ばに、マレーシアおよびフィリピンでは5月半ばにそれぞれ制限が解除され、6月には一部得意先の増産対応もあり、一定の利益を確保することができました。

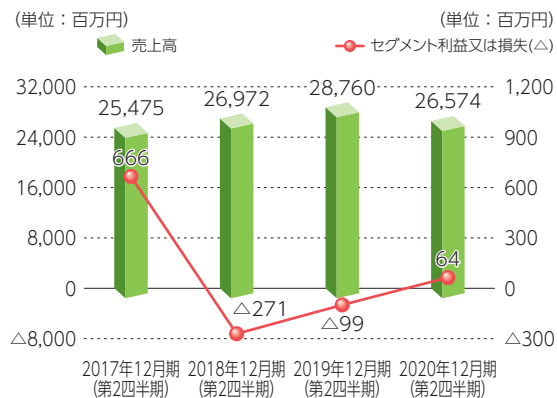
その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、249億63百万円（前年同期比93.0%）、営業利益50百万円（前年同期は営業損失69百万円）、経常利益2億51百万円（前年同期比129.5%）および親会社株主に帰属する四半期純利益1億20百万円（前年同期は営業利益1百万円）となりました。

包装材関連事業

事業内容

段ボールシート、段ボールケース、印刷紙器、美粧段ボールケース、オフセット印刷物、プラスチックフィルム等の製造販売、機械設備等の販売

当セグメントにおきましては、売上高は265億74百万円（前年同期比92.4%）、セグメント利益（営業利益）は64百万円（前年同期はセグメント損失99百万円）となりました。



不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は1億91百万円（前年同期比98.2%）、セグメント利益（営業利益）は1億59百万円（前年同期比97.9%）となりました。



第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 2019年12月31日現在	当第2四半期末 2020年6月30日現在
資産の部		
流動資産	21,704	19,667
固定資産	40,856	43,904
有形固定資産	21,475	21,608
無形固定資産	373	867
投資その他の資産	19,007	21,428
① 資産合計	62,561	63,572
負債の部		
流動負債	19,396	18,251
固定負債	7,448	8,366
② 負債合計	26,844	26,618
純資産の部		
株主資本	29,011	28,658
その他の包括利益累計額	6,652	8,242
新株予約権	8	8
非支配株主持分	44	44
③ 純資産合計	35,716	36,954
負債純資産合計	62,561	63,572

第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2019年1月1日から 2019年6月30日まで	当第2四半期 2020年1月1日から 2020年6月30日まで
売上高	26,836	24,963
売上原価	22,970	20,854
売上総利益	3,866	4,108
販売費及び一般管理費	3,936	4,058
営業利益又は営業損失 (△)	△ 69	50
経常利益	194	251
親会社株主に帰属する四半期純利益	1	120

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

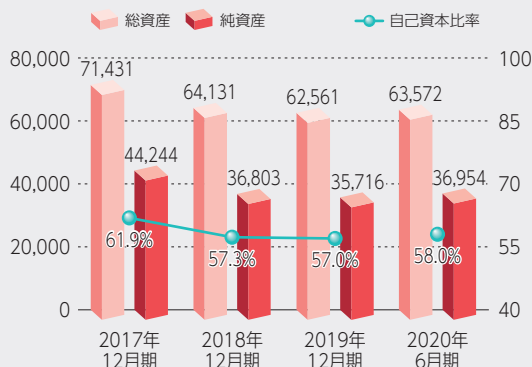
(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2019年1月1日から 2019年6月30日まで	当第2四半期 2020年1月1日から 2020年6月30日まで
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,532	1,646
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,197	△ 1,144
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 95	△ 328
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	241	212
現金及び現金同等物の期首残高	1,586	1,997
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	77	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,906	2,209

総資産／純資産／自己資本比率

(単位：百万円)

(単位：％)



Point

- ① 当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億11百万円増加し635億72百万円となりました。これは、主に前連結会計年度末に比べ売上高の減少などによる売上債権の減少があったものの、保有株式の株価上昇にともなう投資有価証券の増加などがそれを上回ったことなどによるものであります。
- ② 当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2億26百万円減少し26億18百万円となりました。これは、主に投資有価証券の含み益の増加に伴う繰延税金負債の増加があったものの、生産量の減少にともなう仕入債務の減少などがそれを上回ったことによるものであります。
- ③ 当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ12億37百万円増加し369億54百万円となりました。これは、主に保有している投資有価証券の時価の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加などによるものであります。
- ④ 営業活動により得られた資金は16億46百万円（前年同期は15億32百万円）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益を2億51百万円計上したことおよび減価償却費を8億71百万円計上したことなどによるものであります。
- ⑤ 投資活動により使用された資金は11億44百万円（前年同期は11億97百万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出6億50百万円および連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出4億88百万円などによるものであります。
- ⑥ 財務活動により使用された資金は3億28百万円（前年同期は95百万円）となりました。この主な要因は、短期借入金の増加3億93百万円および配当金の支払4億94百万円などによるものであります。

会社情報



会社概要 (2020年6月30日現在)

商 号	ダイナパック株式会社
本 社	〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目1番1号
登記上の本店所在地	〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目14番15号
資 本 金	40億円
従 業 員	2,269名 (連結) 680名 (単体)
設 立	1962年 (昭和37年) 8月
事 業 内 容	段ボールシート、段ボールケース、印刷紙器、美粧段ボールケース、オフセット印刷物、プラスチックフィルム等の製造販売、機械設備等の販売、不動産の賃貸

役員 (2020年6月30日現在)

代表取締役社長	杉 山 喜久雄	取締役	深 井 靖 博
代表取締役副社長	齊 藤 光 次	取締役	富 澤 豊
取締役専務執行役員	草 野 雅 夫	取締役常勤監査等委員	仲野谷 公 美
取締役常務執行役員	大 山 英 男	取締役監査等委員	児 玉 弘 仁
取締役常務執行役員	野 澤 政 司	取締役監査等委員	松 若 恵 理 子
取締役常務執行役員	篠 岡 尚 久		

- (注) 1. 取締役の深井靖博氏および富澤豊氏は、社外取締役であります。
2. 取締役監査等委員の児玉弘仁氏および松若恵理子氏は、社外取締役監査等委員であります。
3. 当社は、取締役の深井靖博氏、富澤豊氏および取締役監査等委員の松若恵理子氏を東京・名古屋両証券取引所の定めに基づく独立役員として指定しております。
4. 取締役監査等委員の松若恵理子氏の戸籍上の氏名は、松本恵理子であります。

ネットワーク



国内事業所 7
国内グループ会社 9
海外グループ会社 8

国内・海外に広がる、ダイナパック・グループ

多治見ダイナパック(株)
土岐ダイナパック(株)中津川工場

2020年1月20日付けで、株式会社小倉紙器の株式を取得し、子会社化しました。

株式情報



発行済株式総数 9,903,765株 (自己株式418,826株を除く。)

株 主 数 2,335名

単 元 株 式 数 100株

大 株 主 の 状 況

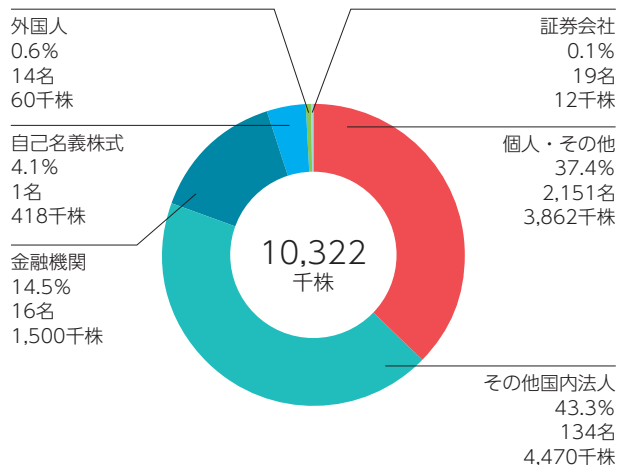
株主名	持株数	持株比率
カゴメ株式会社	1,823千株	18.4%
ダイナパック取引先持株会	973	9.8
株式会社三菱UFJ銀行	313	3.2
伊藤忠紙パルプ株式会社	289	2.9
丸紅紙パルプ販売株式会社	277	2.8
レンゴー株式会社	275	2.8
王子マテリア株式会社	272	2.7
第一生命保険株式会社	268	2.7
大王製紙株式会社	241	2.4
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	210	2.1

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除し算出しております。

2. 当社は自己株式418千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

(2020年6月30日現在)

● 所有者別株式分布状況



ホームページのご案内

当社の

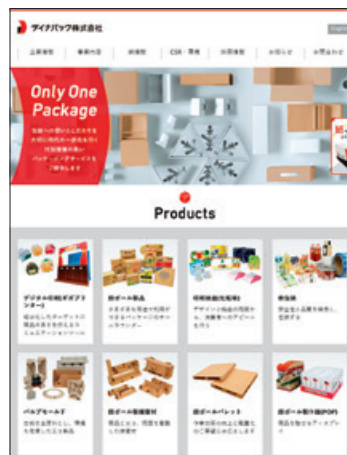
- 会社情報
- IR情報
- 採用情報

などはこちらからご覧ください。

ダイナパック

検索

<https://www.dynapac-gr.co.jp/>



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月下旬
単元株式数	100株
基準日	
定時株主総会・期末配当中間配当	毎年12月31日 毎年 6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。
電子公告・決算情報掲載の ホームページアドレス	https://www.dynapac-gr.co.jp/koukoku.htm

(ご案内)

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

TOPIC

本社の一時移転

2020年7月20日付けで、ダイナパック株式会社本社を名古屋市中区栄三丁目1番1号 広小路本町ビルディング10階に一時移転いたしました。



受付、会議室には当社ギガプリンター(デジタルプリンター)製のユニークなテーブルやラックを設置しています。

また、段ボールで作成した新型コロナウイルス感染防止のパーティションも設置しています。

これを機に、より一層の精進に努め皆様のご期待にお応えしてまいりたいと存じますので、今後とも倍旧のご支援ご鞭撻を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。



ダイナパック株式会社

本社：名古屋市中区栄三丁目1番1号

TEL：052-971-2651



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。